



# ええやん! しょうない

しょうないを  
みんなで作る  
情報誌

http://shonairek.fc2web.com/



Vol.5  
ええやん! しょうない編集局



カナダ・クワクワカワカ族 高さ12メートル

## 「トテムポールって 知っていますか?」

大きな目玉に牙をむき出した口、鋭いつめの生えた手足や広げた翼...そこに彫られた恐ろしいだけどころなくユーモラスな生きものたち、トテムポールというと、小学校の校庭や公園のかたすみに立つそんな姿が思い浮かびます。

このトテムポール、もともとは北アメリカ大陸の北西部にずっと昔から暮らしてきた人たちが、自分たちの村や家の前に立てた飾り柱です。

そこには「ほくのひいひいひい...おばあちゃんは今と結婚したんだよ」とか「大昔、大洪水があった時にシャチが助けてくれたのよ」という自分たちの部族がどのように生まれ、どんな歴史があるのかということが彫られています。

トテムポールを立てる人たちは、動物たちを先祖として敬い、その名前をとって「クマ族」とか「シヤチ族」と名のついているのです。動物たちは親戚なのです。大切につきあいます。

あのクマはひいひい...おばあちゃんの生まれ変わりがもしれないし、そのカラスは兄弟かもしれない。むやみに傷つけたり殺したりということはなくあります。それは、いろいろな生きものが一緒に暮らしていくための知恵でもありました。

ほくは十数年にわたって、野生のシヤチを観察していますが、友だち同士遊んだり、きれいな夕陽をながめたり、楽しそうにおしゃべりするようすは、人間と変わりません。ほくはシヤチが皮を脱いだら、中身は人間じゃないのかと思うようになりました。人間と動物の間にはっきりと線を引いてしまふよりも、自分も他の生きものもおなじ「いのち」なのだと思えたほうが、ずっと気分が良いように感じます。

身近な生きものをもっとよく見たり、やさしく声をかけることで、公園のノラネコや道ばたのタンポポとも友だちになれます。ほくらの町にはクマもシヤチもいませんが、「ノラネコ族」とか「タンポポ族」なんて部族があっても楽しいかな、なんて思っています。

(文・絵 絵本作家・二川英二さん)

二川英二さん略歴)茨城県水戸市生まれ、大阪市在住。94年よりカナダ・ハンソン島にて野生オルカの観察、調査に参加。先住民族の文化や野生動物の美しさに触発され、97年頃から独学で絵を描き始める。展覧会・ワークショップ、講演などで活動中。著書に「オルカの夏」「トテムポール」「カラスとカモメ」「まいごのオルカ」(いずれも福音館書店)がある。

## お隣さん ご紹介リレーインタビュー

第4回 舩見 ビクトリアさん  
(米町在住・フィリピン/セブ島出身)



ビクトリアさんは、日本人のご主人と結婚して日本に住むようになり9年経ちます。母国フィリピンでは雪が降らないので、日本に来るまで雪を見たことがなかったとか。「初めて日本に来たのが12月。めっちゃ、寒かったね〜!」と肩をすぼめる。島田小に通う2年生の可愛い娘さんと3人家族、おっとりとした大阪弁を話す優しいフィリピンママです。

このコーナーの第一回めに紹介した島袋カティアさんの娘さん達と同じ小学校で、カティアさんがビクトリアさんに声をかけたのがきっかけで、とよなか国際交流協会フィリピン人の集いや日本語の講座にも通うようになりました。しょうないREKの行事やお祭りにも度々協力をしてきていて、昨年10月には島田小5年生の国際理解教育の授業にゲストティーチャーとして、他の国出身ママ達と共に協力しました。フィリピンの国旗の紹介、地図で国の場所や島の様子を説明したり、フィリピンの言葉や遊びを披露したり。「授業するなんて、初めてだったからとても緊張したよー。でも子供達が一生懸命、話を聞いてくれて嬉しかったね。」と本当に嬉しそうでした。いつもはとても物静かなビクトリアさんですが、「これからもっともっと日本語勉強したいね。」と意欲的。頑張ってね!

### みんなで知ろう!

学ぼう!

やってみよう!

環境省ESD推進事業

## 赤ちゃんからのESD 【連続講座】



子ども達が安全で平和に過ごすことができるよう、子育て環境をみつめ直してませんか? 全4回とも、ゲームやトークを交えて楽しみながら体験出来る、ワークショップ形式の講座です。

- 日時 3月6日・13日・20日・27日 全4回(火)/午前10時~12時
- 場所 千里公民館
- 対象 就学前の子どもをもつ保護者(保育あり・1歳~:無料)
- 参加費 無料
- 定員 15名(先着順)

- 内容
- ① 出会う:「期待も不安も大切な一歩!」  
講師:永橋為介さん NPO法人 コミュニティデザインセンター副代表
  - ② 深める:「私の中の隠れた力は、この子の中の隠れた力」  
講師:今福ふみよさん 大手前大学人文科学部美術学科助教授
  - ③ 知る:「へえ! そうなんだ。おもちゃとアニメの子育て環境」  
講師:藤孝弘さん NPO法人 環境市民事務局
  - ④ つながる:「この子に必要な! まちに生まれる出会いと関わり」  
講師:永橋為介さん NPO法人 コミュニティデザインセンター副代表

参加申込み (財)国際交流協会 (06)6843-4343 担当:山下まで

お問い合わせ・ご提案・投稿先は

「ええやん! しょうない」編集局 ●豊中市立 庄内図書館 しょうないモデル事業実行委員会 ●  
TEL(06)6334-1261 FAX(06)6336-9314 E-mail:shounai\_rek@yahoo.co.jp



しょうないREKとは [R:リサイクル E:イベント K:情報瓦版] 庄内をもっと元気にしたい! と活動しているボランティアと行政との協働事業です。

ぞんじ  
ご存知ですか？

# 地域の小学校でのこんな取り組み。

最近テレビや新聞で国際的な「マグロ」の漁獲制限のことが、大きく話題になっています。「高級化して庶民の口にはもう入らなくなるかも？」というようなセンセーショナルな報道をするマスコミもあります。地球の資源はみんなのもので、お互いがよく話し合っ、それぞれの(食)文化を大切にしながら、国際的に資源を保護していくことなど、自分たちの国のことだけでなく地球規模で考えていくことが地域で暮らす私達にとっても、大切になってきました。

ますます国際化していく社会の中で、地域の未来を担う子供たちも、地元の小学校(地図参照)で、さまざまな国際理解教育(※1)を受け始めています。たとえば、豊中市に在住する外国人が小学校に講師として招かれ、英語やその国の言葉を一緒に勉強したり、その母国の生活の話をしたり、またその国の料理や遊びを紹介したりしています。子供達は英語をはじめ、初めて聞く国の言語にもふれるなど、積極的にコミュニケーションにチャレンジするなど、国際的な体験学習が展開されています。(※2)

子供たちが、地域や世界の一員として、主体的に生きていくためには、国際化社会でも通用する価値観や態度、能力などがとても重要になってきています。学校だけではなく、地域でもこれらについて、大人も一緒に出来ることからかかわっていくことが、今後地域を暮らしたいものにしていく上で、大切なのだと思います。私たち「しょうないREK」は、色々なイベントや活動を通じて、これらのことを実践していきたいと考えています。ご理解とご協力、そして積極的なご参加を心よりお待ちしております。

(しょうないREK 小池繁子)



※1) 2006年度、豊中市は、文部科学省が全国から募集した国際教育推進地域の1つに採択されました。日本がた、従来の国際理解教育であった、「他国や異文化理解や交流・英語を中心としたコミュニケーション能力、自己文化尊重」から、ユネスコの唱えた「国際教育」(平和、人権、民主主義、共生、持続可能な開発のための教育)への転換を目指しています。

※2) 現在、豊中市全小学校41校では様々な形の国際理解教育が実施されています。特に2006年度は、地元在住・滞在しておられるフィリピン、韓国、中国、台湾、タイ、ブラジル、ペルー、インドネシア、バングラデシュ、ジンバブエなど20カ国以上の外国人ボランティアさんが、小学3年生から6年生までの英語や外国語体験活動、異文化学習など小学校の国際理解教育に協力し、各校で楽しく有意義な授業が行われています。

# 島田小学校に行ってきました

市内の小学5年生は、総合学習の時間に、国際理解教育の時間があります。昨年10月に島田小学校より我が「しょうないREK」に外国人ママたちの話を聞かせてもらえないだろうかとの依頼があり、地域に住むフィリピン、ペルー、ブラジル、中国のママたち4人が学校に講師として招かれました。

初日、先生方に紹介された時はとても緊張していて、「5年生の子どもたちにどう接していいのかわからない…」と不安だったママたちですが、子どもたちの懐っこさに緊張も不安もどこかに飛んで行ってしまったようでした。

1日目は自分の国の紹介をしました。どこにあるのか地球儀で探してみたり、大きさは？言葉は？気候は？生活面での日本との違いは？など自分達で作ったり持ってきた資料や写真、ビデオなどを披露しました。

2日目は、国の子どもたちの家や学校での生活、勉強や遊びはどんなことをしているかを紹介してもらった後、ママたちの好きなように自分の国をアピールしてもらいました。遊びで盛り上がり、自慢のお菓子を手作りしてきたり…子どもたちにもおいしい時間だったようです。

この2日間で、子どもたちは自分達との違いに驚いたり、笑いが出たり、質問もたくさん出してくれました。たった4カ国の紹介でしたが、世界にはいろいろな国があり、いろんな人がいることに興味を持ってくれたと思います。また、講師となったママたちは、とても楽しくいい経験になりました!と喜んでくれています。人前におしゃべりするのが苦手だったママには自信がついたようです。なんだかとても明るくなったように見えるのは私だけじゃないはずです。



# 「しょうないREK」にキッズくらぶが誕生しました!

# 「しょうないプリティガールズ」が始動~

昨年結成された「こども おどるdeしょうない」ダンスチームに参加してくれている小学生たちからもっと自分たちでいろいろなことをやってみようという声があがり、REKのフリースペース(庄内図書館3階)を拠点とした活動が1月から始まりました。メンバーは小学生の元気いっぱい女の子が中心です。あれもしたい、これもやってみようという女の子の時期。自分たちの頭で考えて、体を動かす。自分たちのやりたいことなら、きっと身体も動くはず。でもそれは大人にお話立てをしてもらうのではなく、「自分でできることを自分たちです」ということを前提として活動を進めていきます。自分たちができることをそれぞれ持ち寄り、自分たちの力ですすめていく。失敗しても大丈夫。自分ができなくても仲間の誰かができるかもしれないし、そんな時には助けてもらう。みんなで考える。この活動を通して、自分たちはどんなことができるのか、何ができないかを感じる事ができればと考えています。

私たち大人は子どもたちが目標に向かっていくために必要な環境をととのえたり、機会を提供する。困った時には一緒に考える。そういった立場にたって子どもたちといろいろな活動を楽しんでいきたいと思っています。今は女の子たちだけのグループですが、元気な男の子たちも大募集!もちろん、わたしも何かやってみようという女の子も募集中。あわせて、子どもたちと遊びたい、一緒に活動してみたいというサポーターさん(年齢性別問わず)も募集します。みんなで活動の輪をひろげていきましょう!!

- しょうないREK キッズくらぶ 「しょうないプリティガールズ」
- ~これからの予定~
- 2月24日(土) お菓子作り
  - 2月25日(日) 多文化こどもフェスティバル参加
  - 3月31日(土) チアダンス講習会(一般参加可)
- \*詳細は後日お知らせいたします\*

※しょうないプリティガールズへのお問い合わせは、庄内図書館REKコーナー(毎週火曜日 10:00~16:00) 庄内図書館/TEL(06)6334-1261

2006年度

# またまたやるよ！ 庄内文化センターにて 多文化こどもフェスティバル

参加費：無料

2月25日(日) スケジュール予定は・・・ ※若干変更あるかもしれません。

AM10:00～PM16:00

**REKコーナー(リサイクル本販売)オープン**  
(庄内図書館 3F REKコーナー)

開催内容

エスニックカフェ併設  
おいしいお菓子と、中国茶、チャイ、ブラジル  
コーヒー等販売します。  
本を選んだ後に、おしゃべりしながら一息  
いかがですか？

AM11:30～PM12:00

**多文化おはなし会  
外国語の絵本読み聞かせ**  
(庄内図書館 2F こども室)

開催内容

ちびっこのみんな、おうちのひと  
と一緒においで～。

PM13:00～PM15:30

**多文化共生講演会  
「トーテムポールのクニへようこそ！」**  
講師：二川英一さん(庄内公民館 3F)  
小学生以上 申込み先着50名

開催内容

自然豊かなカナダの暮らしについての  
二川さんのお話と、ペットボトルを  
使った自分たちのトーテムポール作り  
です！

特別企画：二川さんの絵本原画展 公民館2F展示会場にて終日開催。

お申し込み：どれも不要です。庄内図書館3F REKコーナーまで直接お越し下さい。

お問い合わせ等は、庄内図書館REK担当まで TEL(06)6334-1261

同時開催

ESDとよなか(環境省ESD促進事業)



チャレンジ★写真ワークショップ in しょうない

2月25日(日) 9:30～16:30 庄内公民館とその周辺

■申し込み先着/20組 ■参加費/無料 ■小学生以上(保護者同伴可)

子どもたちがカメラを持って庄内公民館とその周辺を歩き、自分の感性で写真を撮ります。その写真をグループで1枚の大きな紙に貼って、みんなで紹介しましょう。

プロの新聞カメラマンの指導もあります。

AM9:30 庄内公民館第1学習室集合 持物：昼食、飲み物、筆記用具。カメラは用意しますが持ってきてもいいよ。

お申し込み：とよなか市民環境会議アジェンダ21まで TEL(06)6863-8792



# ESDってな～に？ ESD とよなか

今、世界中でESDという取り組みが進められています。豊中でも「ESDとよなか」として始まっています。この瓦版も「しょうないREK」もESD的な取り組みのひとつです。

ところでESDってなんでしょう？

## 【そこで皆さんに質問です。】

- あなたの子どもや孫の世代の人々が、将来どんな暮らしをしているか考えたことがありますか？
- その時の環境や社会は、このままで大丈夫だと思いますか？
- では世界中のあらゆる人々ははどうでしょう？
- いつか誰かがなんとかしてくれるのでしょうか？

これらを定める「社会」は、皆さんも含めた「人」が集まってできています。あなたのいつもの行動がこの社会をつくっていることを知っていますか？ これからの社会をつくっていくのに、限られた人だけで決めるより、いろんな立場の多くの人々が考えて関わった方がいいと思いませんか？何も知らないで社会が悪くなるより、ちゃんと知って、自分で考え、行動することで、社会が良くなることにつながる方がいいと思いませんか？

そのための「学び」がESDだと考えています。

「ESDとよなか」では、豊中という地域でのこのような学びの場や学びあう機会、そして学んだことを活かす仕組みを作ろうとしています。

そのため、できるだけいろんな立場の人、多くの人と一緒にやっていきたいと思っています。どこかで「ESD」という文字を目にしたらチェックしてみてください。そして気になるものがあれば、一度のぞいてみてください。

また、すでに未来のために取り組んでいる人や取り組もうと考えている人は、何かESDにつながることはないか考えてみてください。

ぜひ、一緒にやりましょう！



## 「ESD」って何の略？

ESDは、Education for Sustainable Developmentの頭文字をとったもので、「持続可能な開発のための教育」と訳されています。国連では、2005年からの10年を「国連持続可能な開発のための教育の10年」としています。

ESDについて、もっと知りたい人、関わりたい人は以下のイベントに参加してみてください。

# 次世代に・想い・つなげる・まちフォーラム

— 持続可能なまちづくり —

- 日時** 平成19年(2007年)2月24日(土)  
13時30分～16時30分
- 場所** とよなか男女共同参画推進センター すてっぷホール  
阪急池袋宝塚線豊中駅前「エトレ」5階 (豊中市玉井町1-1-1-501)
- コーディネーター** 浜本 裕子さん(ESD関西事務局長)
- 事例発表** ESDとよなか/豊南小学校/ほっとる一むひよこちゃん寺内  
豊中市社会教育委員会/東京都日野市(ESD-Hino)  
大阪府和泉市(NPO法人DUSH)
- 主催** 豊中市 **協力** ESDとよなか
- 申し込み問い合わせ** 豊中市環境政策室  
TEL(06)6858-2128

